

## 令和6年度実施 研究室配属方法

機械系4専攻の大学院博士課程前期2年の課程一般選抜における研究室配属は、志望研究室（第1、第2志望）が記入された志望調査票に従って行います。志望調査票は、受験票と一緒に本人に送付されます。予め提出していただきますが、試験当日にも確認と修正が行えます。

研究室配属の流れは大略以下の通りです。

1. 機械系4専攻（機械機能創成専攻、ファインメカニクス専攻、ロボティクス専攻、航空宇宙工学専攻）に合格予定者数（4専攻定員枠）が割り当てられています。また、研究室には、最大受入人数（研究室定員枠）が設けられています。
2. 合格最低点を満たす受験者を、成績順に志望調査票に記入された研究室に配属し、研究室定員枠を埋めていきます。
3. 第1志望研究室の定員枠が埋まった場合は、第2志望研究室への配属となる場合があります。
4. 上記の配属手順だけで4専攻定員枠が埋まらず、かつ合格最低点を満たす未配属の受験者がいる場合には、当該受験者に対して研究室定員枠が空いている研究室を面接の際に示し、成績順に配属します。